



# 栄光八事新聞



令和7年度  
2025.12

## 展覧会

せかいのはてまでEIKO!

九月二十八日(日)、日進市民会館(展示ホール)にて、展覧会が開催されました。「大阪・関西万博」が行われている時期でもあり、今年のテーマは「世界を巡ろう」に決定。子どもたちが世界に目を向けるきっかけとなる展覧会を目指しました。

アジア・オセアニア・ヨーロッパ・アメリカ・アメリカのさまざまな遺産や人々の暮らし、文化について、絵本や写真、話し合いを通して興味を深めていきました。子どもたち一人ひとりが感じた世界のイメージを大切にしながら、絵画や作品づくりに取り組み、色や形、表現方法を工夫して自分なりの作品を完成させました。当日は、子どもたちの自由な発想で描かれた作品が会場いっぱいに表示され、まるで世界旅行をしているかのような雰囲気になりました。幼児ならではの素直な感性やのびのびとした表現が随所に見られ、作品作りを通して育まれた想像力や表現力の豊かさを改めて感じました。



## 幼稚園まつり

僕らは未来の探検隊!

十一月二十四日(月)日本特殊陶業市民会館(ビレッジホール)にて幼稚園まつりが開催されました。大きな光り輝く舞台でスタートです!年少・黄組は、先生、お友だちと一緒に、物語と音楽の世界に入り込み、大きな舞台で小さな身体を思いきり動かす姿がとても微笑ましかったです。年中・赤組は、子どもたちだけで舞台上立ち、次々に隊形移動しながら元気いっぱいいなパワーが伝わるリズムダンスでした。年長・青組は、音楽教育の集大成、器楽合奏を発表しました。リズム一つ一つに心を研ぎ澄まし、作り上げた合奏は、とても頼もしく心に残るものでした。合唱「希望の歌」は、栄光八事幼稚園・鳴海ヶ丘幼稚園青組合同による大合唱になり、幼稚園まつりクライマックスにふさわしい、感動的なひとときになりました。



## 天白消防署 見学

(年長・青組)



消防士さんのお仕事についてお話を聞き、命を守る大切な役割を学びました。早着替えを間近で見た子どもたちは、その素早さに驚きと感動でした。制服を着せていただいたり、はしご車からのびる、放水時のホースを実際に持たせていただき、一人では持てない重たさにも驚いていました。とても貴重な体験となりました。

## 文化芸術体験「ヒップホップ」「ドイツ」



「ヒップホップ」体験はウキウキする曲に合わせて元気に身体を動かしました。「ドイツ」体験は、クリスマス前の過ごし方をリースやアドベントカレンダーを見せいただき、日本の過ごし方との違いを知りました。文化芸術体験を通し、子どもたちが、日本の文化とさまざまな世界を知る大切な時間となっています。

## 自然文化デー「南知多ビーチランド」

(年長・青組)



自然、生き物の生態を間近で感じる一日。友だちと一緒に見て、触れて、発見する中で、より自然との関わりも深まりました。小雨が降りましたが、ビーチコーミングを楽しみながら自然を大切にすることがSDGsにも関心をもち、遊びを通して深い学びになりました。

## 子育て新発見!

受験ドラマ「ドラゴン桜」の指南役で、教育評論家の親野智可等(おやのちから)さんの講演を聴きました。冒頭から子育て新発見です。

- 「これからの質問に三択でお答えください。」
- ① そう思う ② 思わない ③ どちらともいえない
- 問1 犬猫の好き嫌いは、生まれつきか否か?
- 問2 朝型夜型は、生まれつきか否か?
- 問3 整理整頓が得意なのは、生まれつきか否か?

答えは全て①です。これらの性質は、遺伝によるものが、スウェーデンの双子研究所等で立証されています。また意外にも大人になってからの方が、理解力が育ち、学習できるそうです。我が子を想像していかげしょうか? 「生まれつきが解れば叱る回数が減る、しつけより、やはり親子の信頼関係が学習を高める」と親野さんは説かれます。

二十年前からの発達心理学研究は、アップデイトされ、子どもの自立を育てる子育て法も変化しています。

講演最後のことに感銘しました。「子どもは今は今しかない。将来、未来、人生、先など見えていない、考えていない。だから夢中、可愛い、明るい」目の前の子育てを楽しみつつ、最新の発達心理学にも注目して、子育てを新発見しましょう!

園長 岡田 勝彦